

● 現在の経営状況^{*2}

		前回からの変化
住宅・宅地分譲業	6.1 p	4.4 p 
不動産流通業（住宅地）	-6.8 p	△ 7.5 p 
ビル賃貸業	10.0 p	4.2 p 

● 3ヶ月後経営状況見通し^{*3}

		前回からの変化
住宅・宅地分譲業	-12.5 p	△ 2.5 p 
不動産流通業（住宅地）	-15.9 p	△ 17.3 p 
ビル賃貸業	0.0 p	0.0 p 

住宅・宅地分譲業の経営状況は前期比 4.4p改善の 6.1p。
 不動産流通業は前期比 7.5p悪化の -6.8p。
 ビル賃貸業は前期比 4.2p改善の 10.0p。

3ヶ月後の見通しは、住宅宅地分譲業、不動産流通業で悪化。

*1 不動産業を営む企業を対象としたアンケート調査をもとに、不動産業業況指数を算定（-100～+100、0が判断の分かれ目）。
 調査時期は毎年1、4、7、10月。

*2 経営の状況 = $\{(\text{「良い」} \times 2 + \text{「やや良い」}) - (\text{「悪い」} \times 2 + \text{「やや悪い」})\} \div 2 \div \text{回答数} \times 100$

*3 3ヶ月後の見通し = $\{(\text{「良くなる」} \times 2 + \text{「やや良くなる」}) - (\text{「悪くなる」} \times 2 + \text{「やや悪くなる」})\} \div 2 \div \text{回答数} \times 100$

資料：一般財団法人 土地総合研究所「不動産業業況等調査」

[不動産業業況等調査結果\(pdf\)ダウンロード](#)
[時系列データ\(excel\)ダウンロード](#)